

(碑文)

鎮魂

歩兵第百二十聯隊は昭和十三年五月福知山に於いて編成
中支戦線に出陣、武漢を攻略の後、安慶周辺の作戦警備に任じ、十七年長駆浙贛に戦ひ、健脚勇猛の名
を挙ぐ。十八年秋武漢より進撃、常德を攻略。翌十九年長沙より衛陽、宝慶、芷江に転戦曠野をを馳せ
峻険を攀ち、苛烈なる苦闘の末、二十年八月十五日の終戦を迎ふ。此の間遠き異境の荒野に、銃火に斃
れ、瘡痍に死したる戦友、実に四千余柱の多きを数ふ。

爾来四十年、亡き戦友への追慕の情、切々としてやまず生存者有志に浄財を募り、この聖域に一碑を
建立し、祖国の平和と繁栄の礎となられし遺勲を顕彰し、その霊を慰めんとす。在天の英霊安らかに眠
らせ給へ。

昭和六十年四月吉辰

嵐歩兵第百二十聯隊生存者有志